

## 聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者もしくは代諾者（保護者等）に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データから情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	手指伸筋腱 zone5 断裂修復術後に対する外来リハビリでの ICAM 法導入後の治療成績とその工夫		
② 実施予定期間	承認後～ 2025 年 3 月 31 日		
③ 対象患者	対象期間内に手指伸筋腱 zone5 損傷例に対して、日帰り手術にて腱縫合術を施行され、後療法として ICAM 法をされた患者さん		
④ 対象期間	2019 年 8 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	整形外科・形成外科		
⑦ 研究責任者	氏名	高島 広樹	所属   リハビリテーション室
⑧ 使用する資料等	診療情報等より下記事項を調査します。 年齢、性別、受傷指、受傷日、手術日、外来リハ実施期間、外来リハ実施単位数・外来リハ頻度（総単数）、術後各週の手指可動域・Total active motion（以下 TAM）・%TAM、最終時の握力・DASH Score・HAND20		
⑨ 研究の概要	手指伸筋腱修復術後のリハビリ方法である ICAM 法は従来のリハビリより、手指の拘縮発生を予防でき、リハビリ頻度も低減できると報告されています。当院では ICAM 法を外来管理下でも導入しており、これまでに非常に良好な手指の機能を再獲得できております。そこで本研究では、外来管理下で ICAM 法を施行した患者さんの治療成績や通院頻度を調査し、その有効性を明らかにします。		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします		
⑫ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		
⑬ 知的財産権	聖マリア病院に属します		
⑭ 研究の資金源	なし		
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。		

⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。	
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院 リハビリテーション室 高島広樹	
	電話	0942-35-3322